

目 次

はしがき

序 章 公共政策と価値対立——答えは1つではない	I
1 公共政策をめぐる対立	I
2 価値対立の不可避性	4
3 公共政策について考えるために	7
第1章 福祉政策——多くの対立軸と合意形成の難しさ	11
1 社会統合と福祉国家	11
2 グローバル化と福祉国家	15
3 日本の福祉政策——高齢者重視か若年層重視か	18
4 対立軸が錯綜する福祉政策	26
第2章 教育政策——公益と個人の幸福は両立するのか	31
1 教育政策のアウトライン	31
2 地方分権をめぐる対立——全国標準か地方の自由か	33
3 選択の自由をめぐる対立	36
4 民意をめぐる対立——政策を誰がつくるか	39
5 大学教育を受ける機会の平等をめぐる地域間の対立	42
6 バランスのとれた教育政策——極端に走らないために	45
第3章 経済政策——複眼的思考の先にみえるグランドデザイン	50
1 経済政策の対立軸	50
2 経済政策と政府の役割	54
3 財政政策と政策評価	56
4 税制改革における合意形成	60
5 経済政策の将来	66

第4章 農業政策——日本に農業はいらないのか	70
1 農業を取り巻く環境	70
2 食料・農業の特殊性	72
3 農業問題と農業保護政策の展開	80
4 世界的食糧需給の長期見通し	84
5 共生型アグリミニマムへの国民合意形成を	87
第5章 公共事業・公共交通政策——持続可能な社会に向けて	90
1 公共事業とは何か	90
2 公共事業における官民関係の変化	94
3 公共事業を取り巻く課題と対立軸	97
4 今後の公共事業の進む道	105
第6章 エネルギー政策——3Eのトリレンマを超えて	110
1 エネルギー政策と3E	110
2 福島原発事故以前の日本のエネルギー政策	112
3 福島原発事故以降の原発をめぐる価値対立	114
4 エネルギー選択をめぐる価値対立	119
5 価値対立の教訓と今後の展望	123
第7章 ICT政策——情報社会における個人情報の保護と活用	128
1 情報社会と個人情報	128
2 将来予測の困難さ	131
3 一般人と専門家・事業者の知識・認識の差	134
4 政策問題の複雑性	137
5 パーソナルデータと匿名加工情報	139
6 価値対立の解消は難しい	142
第8章 外交・安全保障政策——4つの対立軸	148
1 外交・安全保障政策とはどういう政策か	148
2 外交政策における4つの対立軸	151
3 日本の開発援助政策の事例	155

4	日本の安全保障政策の事例——沖縄の米軍基地問題を中心に	159
5	対立はどのように解決されうるのか	164
第9章 移民政策——社会統合政策との関連から		167
1	なぜ移民政策を取り上げるのか	167
2	労働力としての移民	171
3	生活者市民としての移民	173
4	シティズンシップについて	175
5	日本への示唆	177
第10章 公共政策と政府間関係——中央集権か地方分権か		182
1	なぜ公共政策と政府間関係なのか	182
2	政府間関係の変化	184
3	具体的な事例でみる対立軸	189
4	人口減少社会における公共政策と政府間関係をどう考えるか	194
第11章 公共政策と予算配分——少子高齢化社会に対応して		201
1	公共政策と予算	201
2	予算に関する対立軸	206
3	予算配分の主体はどこにあるのか	214
4	おわりに	216
終章 価値対立と合意形成——合意形成をあきらめない		220
1	民意の反映の限界	220
2	合意形成への志向	222
3	「とりあえず」の「おとしどころ」としての公共政策	227

索引
著者紹介